



# わくわく・ドキン!

## 2・1・7 No11 池内幼稚園

### 新年明けまして おめでとうございます!



新しい年がスタートしました。昨年、元号が平成から令和に代わり、新時代が幕を明けました。今年、歴史的な大イベントとして夏に東京オリンピックが開催されます。また、今年の漢字(漢字検定能力協会)には「令」が選ばれました。

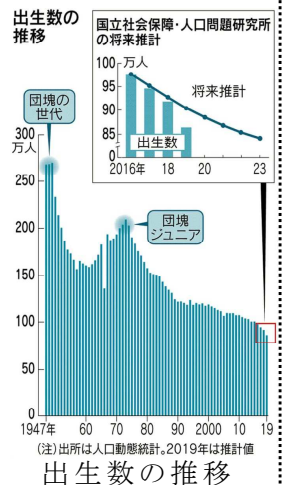
本園もオリンピックイヤーの波に乗って、子どもたちと共に益々元気にスタートしていきたくと思います。

子育て環境改善の取組の一環として、**幼児教育の無償化**も昨年の10月からスタートしました。しかし、少子化が予想以上のペースで進み、2019年の人口動態統計の年間推計で、日本人の国内出生数は86万4千人となり、統計開始以来、初の90万人割れとなりました。

少子高齢化が急速に進む中、私達大人の責任で未来を担う子ども達が**夢と希望**を持って活躍できる社会を創っていかなくてはならないと思います。

本園は、昨年実施した保護者アンケートをもとに、今年も**一歩前進**を合言葉にして、保護者や地域の皆様から信頼される幼稚園を目指して、取組を進めてまいります。皆様の御協力ならびに御支援の程よろしくお願いたします。

職員一同



### インフルエンザが大流行!

先月から、インフルエンザの流行期に入りました。本園は、昨年までは罹患者が少なかったですが、3学期が心配です!

インフルエンザウイルスへの感染を防ぐために特に以下のことに気を付けて下さい。

#### ①手洗い・うがいをする。

園でも毎日しています。帰宅後も御家庭でお願いします。



#### ②マスクをする。

ウイルスの侵入を防ぎ、のどや鼻の粘膜を冷えや乾燥から防ぐ効果があります。



本園でのインフルエンザ等の罹患状況については、HP「インフルエンザなどの状況」でお知らせしております。そちらをご覧ください。



### 1・2月の主な行事予定

- 7(火) 3学期始業式 午前中保育 早延長あり
- 8(水) 通常保育開始
- 10(金) 餅つき大会(参観なし)
- 14(火) 年少個人懇(21日迄)
- 17(金) PTA本部役員会 19:00
- 23(木) 1月誕生会 10:50
- 25(土) 入園説明会(2年度新入園児)
- 27(月) 年中参観
- 28(火) 満3・年少参観
- 29(水) 年長参観
- 31(金) 小学校体験入学(年長)
- 2/3(月) 節分豆まき(参観なし)
- 12(水) 年中参観(ドレミファソランド)
- 13(木) 2月誕生会 10:50
- 14(金) 年少参観(わくわくランド)
- 19(水) 職員研修 午前中保育 早延長あり
- 28(金) 年長参観(わくわくランド)



### 書き損じハガキの募集中!

先月の園だよりでもお願いたしましたとおり、園では書き損じはがきを募集しています。例えば、11枚の書き損じはがきで、カンボジアでは子ども一人が1ヶ月学校に行けます。世界には5,800万人も学校に行けない子ども達があります。どうか、ご協力をよろしくお願いたします。

書き損じハガキは、年賀状当選発表後で結構です。2月1日までにご協力をお願いします。



心ときめく  
わくわくムービー

最近、気になるニュース!

☆視力低下

☆体力低下

最近のニュースで気になる話題を紹介いたします。身近な問題から世界レベルまで課題山積です。

☆視力低下  
文部科学省が本年度の学校保健統計調査結果を発表しました。その中で裸眼の視力が「1.0未満」の小学生は5年連続の増加で34.57%。中学生57.47%、高校生67.64%と共に、いずれも過去最多の割合となりました。視力低下については、スマートフォンやタブレットの普及などで、近くで物を見る時間が増えたり、外で遊ぶ機会が減って、あまり遠くを見なくなったりしていることが背景にあるのではないかと推測されています。

☆体力低下  
スポーツ庁は、小学5年と中学2年の本年度の全国体力テストの結果を公表しました。実施種目の成績を点数化した「体力合計点」は、調査開始以降、女子が上昇傾向、男子も横ばい以上で推移してきましたが、今回はいずれも大幅に低下しました。男子が顕著で、小学5男子は過去最低、中学2男子も過去最低となりました。背景として、①授業以外での運動時間減少②スマートフォンなどの使用時間増③中男女の肥満増などがあると指摘しています。運動習慣の確立とともに、運動時間を延ばす施策を推進する必要があります。

☆大地震・地球温暖化に伴う異常気象  
南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を70%、80%と予測しています。実際にこの地震が発生すると、予想されてる死者数は32万人と推定されています。また、被害は、地震の規模は0.6度上がったと言われている。豪雨災害、干ばつ、森林火災、海面の上昇等の被害が開始されていく。二酸化炭素の削減に向けて世界レベルで取組が必要だ。

